# タイトル サーブレット&JSP の復習 レベル ★

以下のような表示をするサーブレットのサンプルを作ります。



以下の流れで行います

- 1. サーブレットサンプル用のワークスペースを作成する
- 2. プロジェクトを作成する
- 3. サーブレットを記述する
- 4. 実行する

次ページより詳しい手順を記載します!

※やり方を覚えている人は、次ページからの解説を見ずにやってみよう!

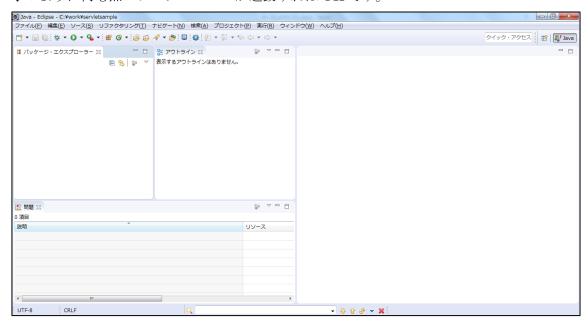
## 1. サーブレットサンプル用のワークスペースを作成する

エクリプスを起動しましょう。

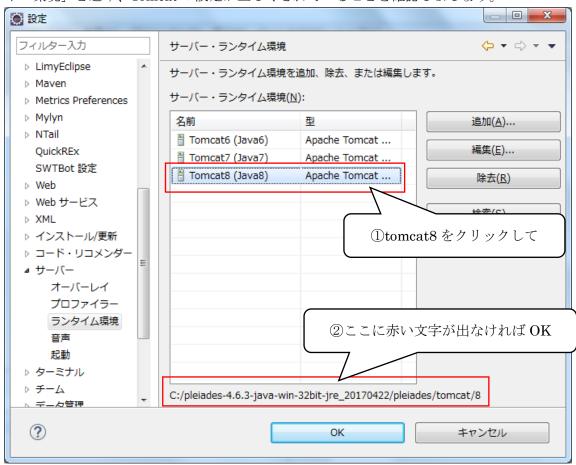
↓の画面で「c:\work\review」と記載します。



↓のように何も無いワークスペースが起動すれば OK です。



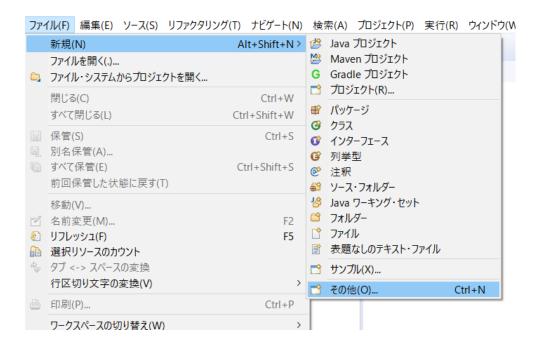
念のために、「ウインドウ」 - 「設定」で表示されるウイザードで「サーバー」 - 「ランタイム環境」と進み、Tomcat の設定が正しくされていることを確認しましょう。



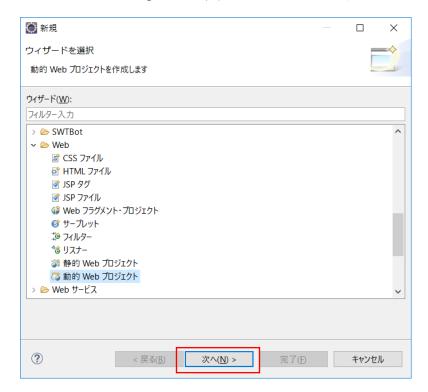
もし、設定がされていない人は以前あった、「2\_Eclipse の設定資料.pdf」を見て設定しなおしましょう!

### 2. プロジェクトを作成する

※以前あった「3\_EclipseWeb プロジェクト作成.pdf」と同じ手順です。 「ファイル」 - 「その他」を選択する



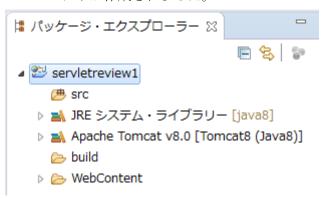
「動的プロジェクト」を選び、次へをクリックします



プロジェクト名を入力します。ワークスペース名と同じ「servletreview1」にしましょう 入力したら完了をクリックします



プロジェクトが作成されました。



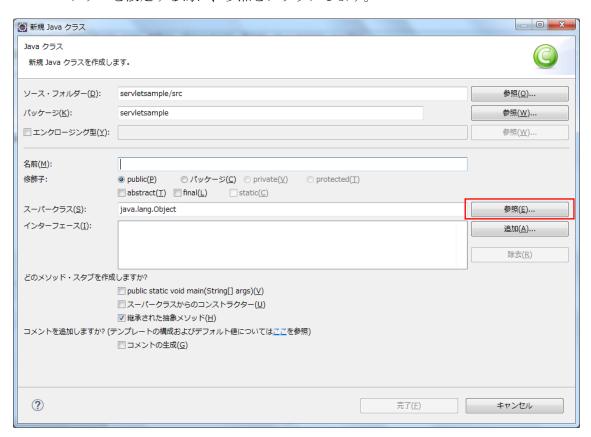
## 3. サーブレットを記述する

サーブレットを記述するためには、まずサーブレットクラスを追加する必要があります。

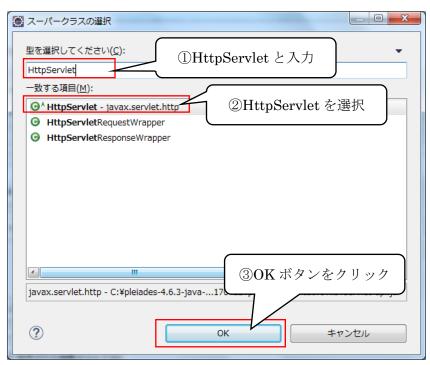
yava - Ecil ファイル(F) 新規(W) Maven プロジェクト **→** 🗐 🖫 新規ウィンドウで開く(N) G Gradle プロジェクト 型階層を開く(N) F4 増 パッケー3 プロジェクト(R)... 表示 Alt+Shift+W(W) ▶ ✓ Уースのエクスポート(S)... <u>₩</u> パッケージ Ctrl+C **じ** クラス <u></u> sr( 📋 コピー(C) ▶ M JR 自 修飾名のコピー(Y) ● 列挙型 ▶ ➡ Ap 
□ 貼り付け(P) Ctrl+V ❷ 注釈 bu ¥ 削除(D) Delete

スーパークラスを設定する為に、参照をクリックします。

「src フォルダ」を選択して、右クリック→「新規」→「クラス」



表示されたダイアログで「HttpServlet」と入力し、HttpServlet を選択して OK ボタンを クリック



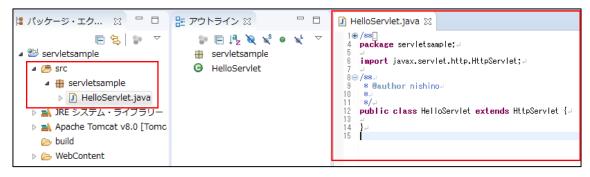
スーパークラスのところに HttpServlet が入れば OK

| 名前( <u>M</u> ):       |                                |
|-----------------------|--------------------------------|
| 修飾子:                  | public( $\underline{P}$ )      |
| スーパークラス( <u>S</u> ):  | javax.servlet.http.HttpServlet |
| インターフェース( <u>I</u> ): |                                |
| どのメソッド・スタブを作成         | しますか?                          |

名前のところに「HelloServlet」と入力し、完了をクリック

| 名前( <u>M</u> ):<br>修飾子:                       | HelloServlet  © public(P)      |  |
|---|--------------------------------|--|
| スーパークラス( <u>S</u> ):<br>インターフェース( <u>I</u> ): | javax.servlet.http.HttpServlet |  |

HelloServlet が作成されて、スケルトンが作成されます。



以下のコードを実装します。

※import は保存した時に自動で追加されます!

```
package servietreview1;
 3⊕ import java.io.IOException; □
    @WebServlet("/hello")↓
    public class HelloServlet extends HttpServlet {
 14
15⊖
        ROverride⊣
        protected void doGet(HttpServletRequest request, HttpServletResponse response)
16
                                               throws ServietException, IOException {
18
            //画面遷移→
19
20
21
22
        ]
 23
25 }₊₁
26
```

次に JSP(hello,jsp)を記述します。

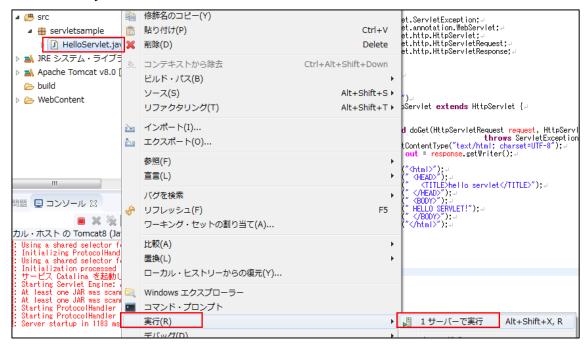
hello,jsp は、先日同様、WebContent¥WEB-INF の直下に jsp フォルダを作成し、jsp フォルダに作成します。

```
| hello.jsp | Signature | Sign
```

#### 4. 実行する

実行するには

HelloServlet.java を選択して、右クリックー「実行」-「1 サーバーで実行」を選択する



早く終わった人は、↓を行ってください!

- 好きな画像を表示する(レベル★)
- ・表示する文字の色と背景色を変える (レベル★)